

今後のスケジュール等について

目次

1	今後のスケジュールについて	・・・・・・・・	3P
2	先進地研修について	・・・・・・・・	5P

1 今後のスケジュールについて

■各回の内容予定

予定開催日	各回内容
第2回 9月11日（木） 本日	○今後のスケジュール説明 ○事例等を踏まえた宿泊税の用途 ○事例等を踏まえた宿泊税の制度
第3回 10月21日（火） AM予定	○アンケート調査結果の報告 ○事例等を踏まえた宿泊税の用途 ○事例等を踏まえた宿泊税の制度 ○第2回委員会の検討内容のうち、事務局からの回答を必要とする事柄
第4回 11月25日（木） AM予定	○各回の議論の総括 ○答申書に盛り込むべき事項
第5回 12月23日（火） PM予定	○答申書（案）の最終的な確認

1 今後のスケジュールについて

	令和7年度					令和8年度				
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
議題	宿泊税の 必要性	宿泊税の 使途及び制度		とりまとめ						
宿泊税 検討委員会	● 第1回	● 第2回	● 第3回	● 第4回	● 第5回					
その他の 日程		宿泊事業者向け アンケート	宿泊者向け アンケート	先進地 研修予定	▼ 報告書 とりまとめ			3月議会		

2 先進地研修について

■研修先（調整中） 11月11日（火）予定

・長崎市（令和5年度導入）

九州内に所在する宿泊税徴収開始済の自治体のうち、導入時期が最も新しく、かつ、システム整備交付金を導入している団体であるため。

自治体名	福岡県	福岡市	北九州市	長崎市
課税客体	旅館業法上のホテル、旅館、簡易宿泊所			
課税標準	1人あたりの1泊の料金			
納税義務者	宿泊者			
徴収方法	特別徴収			
特別徴収義務者	宿泊事業者			
税率	200円	①2万円未満：150円 ②2万円以上：500円	150円	① 1万円未満：100円 ② 1万円以上2万円未満：200円 ③ 2万円以上：500円
免税点	なし			
課税免除対象	なし			
特別徴収交付金額	納期内納入額の3.0%（令和7年度以降は2.5%） 【交付上限額】200万円 ※（令和2年度～令和6年度）期間内にすべて電子申告し、納期限までに納入する： さらに3.5%加算 納期内納入額の3.0%（令和7年度以降は2.5%） 【交付上限額】200万円 ※（令和2年度～令和6年度）期間内にすべて電子申告し、納期限までに納入する： さらに3.5%加算			

2 先進地研修について

■研修内容（調整中）

<長崎市役所>

○ 宿泊税の使途事業について

- ・ 特に、宿泊客の（市中における）受入環境整備や、宿泊客への情報提供に係る事業について、現地を視察

○ 宿泊税システム整備交付金について

<長崎市内の宿泊事業者>

○ 宿泊税の導入に伴い整備すべきシステムや、新たに発生した業務等について

○ 宿泊施設に対する宿泊税の使途事業について

2 先進地研修について

(参考) 長崎市の令和6年度の宿泊税活用事業

①サービス向上・消費拡大 51,417千円 (事業費 91,556千円) ○観光地域づくり推進費 ・サステナブルツーリズムの推進 ・体験商品・長崎グルメ情報の提供 ・クチコミ対策、食の多様化への対応支援 ・ガイド育成  ○長崎さるく推進費 ・長崎さるくの情報発信、ガイド研修 ○MICE推進費 ・MICE開催に向けた機運醸成や、長崎が持つ地域資源・ユニークベニューを活用したレセプション等の実施	②情報提供 155,548千円 (事業費 228,544千円) ○観光地域づくり推進費 ・観光ワンストップサイトにおける情報提供 ・デジタル広告等による訴求プロモーション ・MICE参加者市内回遊促進施策  ○観光客誘致推進費 ・長崎市を舞台とした映画、ドラマ等の作品や出演する著名人を活用したPR ○さしみシティ推進事業費 ・ガイドブック作成等による、誘客及び訪問客への情報提供 ○世界・日本新三大夜景推進費 ・日本新三大夜景の情報発信 ○インバウンド誘致広域連携事業費 ・万博を契機とした他都市との連携プロモーション、海外リモートワーカー（デジタルノマド※）誘致 ※IT技術を活用し、場所に縛られず、旅をしながら仕事をする人達のこと
③受入環境整備 55,560千円 (事業費 131,770千円) ○観光地域づくり推進費 ・市民及び市内事業者のおもてなし機運醸成 ○観光産業人材育成事業費 ・将来の観光産業を支える人材の育成のための小中学校における「観光教育出前授業」  ○総合観光案内所運営費 ・訪問客の利便性向上のための情報提示や多言語による案内の実施 ○観光客受入環境整備費 ・Wi-Fi新設（長崎駅東口広場）、多言語案内板整備、オーバーツーリズム対策警備実施	④緊急時の対応等 50,000千円 ○観光交流基金積立金 ⑤宿泊税賦課費 12,691千円 (事業費 12,694千円) ○宿泊税賦課業務に係る費用及び宿泊税特別徴収事務報償金

2 先進地研修について

(参考) 長崎市の令和5年度の宿泊税活用事業(実績)

①訪問客へのサービス向上・消費拡大	44,025千円 (事業費 105,377千円)
○観光地域づくり推進費	40,550(63,999)
・サステナブルツーリズムとして、地域への貢献や地元の人々との交流プログラムを含む高付加価値な長期滞在型モデルプランの達成 ・体験コンテンツ予約・販売サイト「play nagasaki」やグルメサイト「ナガサキ飯」を活用した着地での情報提供の強化 ・市内事業者におけるGoogle Business Profileの活用を促進し、店舗情報の充実を図る取組み	
○長崎さるく推進費	2,072(38,197)
・長崎さるくの情報発信、ガイド研修	
○ナイトタイムエコノミー推進費	1,403(3,181)
・ナイトタイムエコノミーの活性化につながる、長崎ならではのコンテンツとなるような事業を募集し事業者のチャレンジを支援するもの	
  	
【ナガサキベイタワー＆Mにおける体験コンテンツの一例】 【ガイドと一緒に楽しむ長崎さるく】 【ナイトタイムエコノミー(長崎さるく・ナガサキ飯)の取組】	
③観光施設などの受入環境整備	40,077千円 (事業費 107,992千円)
○観光地域づくり推進費	28,769(45,406)
・市民及び市内事業者のおもてなし機運醸成 ・ユニバーシティの活用等MICE開催時の市内周遊促進に向けた取組み	
○世界遺産保存整備事業費「明治日本の産業革命遺産」	2,103(35,365)
・世界遺産ビジターセンター(グラバー園 旧三菱第2ドックハウス内)のデジタル映像導入等による展示リニューアル	
○総合観光案内所運営費	9,205(27,221)
・長崎駅の総合観光案内所運営に係る費用	
  	
【グラバー園におけるユニバーシティ】 【ビジターセンター展示(5面/42㎡)】 【総合観光案内所】	
⑤緊急時の対応等	50,000千円
○観光交流基金積立金	
●宿泊税賦課費	19,140千円 (事業費19,154千円)
○宿泊税周知に係る広告費や賦課システム等	

②訪問客への情報提供	143,929千円 (事業費 234,895千円)
○観光地域づくり推進費	138,018(193,708)
・観光ウェブサイト「travel nagasaki」における情報提供 ・YahooやGoogle、Instagram等へのバナー掲出をはじめとしたデジタル広告による訴求プロモーション	
○シーボルト来日200周年記念事業費	3,056(14,737)
・記念事業における広報プロモーション	
○世界・日本新三大夜景推進費	441(9,856)
・日本新三大夜景にかかる情報発信	
○さしみシティ推進事業費	2,414(16,794)
・訪問客に向けた長崎の魚のPRに関する費用	
  	
【travel nagasaki】 【開港場における夜景に係る写真展】 【さしみシティイメージ】	

宿泊税活用の効果

宿泊税を活用した取組みなどにより、令和5年の観光統計において訪問客数は前年比31.4%増の約532万人、観光消費額は前年比38.3%増の約1,435億円、長崎市観光動向調査による訪問客の満足度は95.4%、再来訪意向は94.2%と前年と同程度の高い数値を維持しており、訪問客の利便性・満足度・再来訪意向の向上につながったものと考えられる。

令和5年観光統計・観光動向調査(前年・元年比較)

		令和元年	令和4年	令和5年	【単位:人、億円、%】	
市観光統計	訪問客数	6,917,800	4,048,800	5,319,400	31.4	▲23.1
	観光消費額	1,492	1,037	1,435	38.3	▲3.8
観光動向調査	観光客満足度※1	91.9	96.3	95.4	▲0.9	3.8
	再来訪意向※2	91.0	95.3	94.2	▲1.2	3.5

※1 観光客満足度は「大変満足」と「満足」の合計

※2 R元、R5年:「大変そう思う」と「思う」の合計

R4:「時期はわからないが、機会があれば再び訪れたい」と「1年以内に再び訪れたい」の合計